

音楽のよろこび

2022年4月25日 No.40 発行文責 担当事務局 田中 正恭

皆様こんにちは。2022年度第1回は、春爛漫の中「ヴィオラトリオ」です。 今を盛り咲いているお花、ビオラとヴィオラのスペルはViola(伊)と同じ、なんかいい ですね。

昨年度最終講座で、金本さんは「次回、ヴィオラの事はタップリ?お話します」と言われ、その時少しだけヴィオラのお話がありました。

①ヴァイオリンと比べ少し大きめ・・・でも大きさはいろいろで一見ヴァイオリンの様な小型のものもある。(実際にその楽器を示していただきました。)

②ヴァイオリンより「<u>5度</u>」低く調弦される楽器…ちょっと復習的予習になりますが、ヴァイオリンは4本の弦が張ってあって太い(低い)方から、<u>ソレラミ</u>と調弦、ヴィオラも4本の弦が張ってあって、<u>ドソレラ</u>と調弦。そして両方の楽器とも弦と弦の音の関係は全部5度ちがい。

■調弦(音を合わせる)

◇ヴァイオリン(ソレラミ)



◆ヴィオラ (ドソレラ)



■5度とは……

音程を表わすための単位が

度数です。ドとドは1度になります



③ヴァイオリンと比べ、レパートリーになる曲は少ないと言われましたが・・・。 以前のDVD収録の際にお聞きしたとき、私は魅力的なヴィオラの曲はいっぱいあるんだぁと思ってしまう演奏だったのを記憶しています。

そうでした。今回は2年前のDVD収録時のトリオ、金本洋子さん、小峰航一さん、丸山緑さんの、生でのリベンジ回なのでした。

どうぞ今日こそヴィオラの美しく深く、しかし華やかな演奏を楽しみましょう。

次回は5月23日側

ファゴット
中野 陽一郎 さん

ファゴットは低音を奏でる 木管楽器であり、オーケストラでは縁の下の力持ちとして 存在感を発揮する楽器です。

長~い楽器です。お楽しみに。。。



力 前回 3/28 弦楽器 力

ちょっとだけ振り返り~

聞きなれたバッハの名曲も、こんなに現代風になるんだ。ヘェ〜と、その魅力的なひびきを堪能。そして、ヴィオラの美しい「グリーンスリーブス」で、コントラバスの名曲からオリジナルの曲を聴かせていただき、ヴァイオリンの難曲をそうは感じさせない素晴らしい演奏を聴かせていただき、後半はピアソラ、そしてJuvichanの曲をたっぷりと・・・コントラバスをこんなにもテクニカルに、そして美しく聴かせていただきました。

また、ヴァイオリンの杉江さんには、プログラムになかったカザルス「鳥の歌」を中山さんのすばらしいピアノと一緒に熱をもちつつ、しかし静かに感動的演奏をされました。音楽家の皆さまのウクライナの人々に寄せるおもいが、私たちの胸を満たした時間でした。実はコントラバスのJuvichanさんは、もう1曲ウクライナの曲を準備されていたそうですが、時間の関係でカット、ウクライナの事も語りたかったとあとで、おっしゃっていました。

ヴァイオリン 杉江 洋子 さん ヴィオラ 金本 洋子 さん コントラバス 出原 修司 (Juvichan)さん

ピアノ 中山 航介 さん

素晴らしい演奏ありがとうございました。



~アンケートから~

いつもアンケートにご協力ありがとう ございます。

アンケートは一部抜粋したものもあります。

ご了承ください。

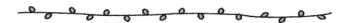
豪華メンバー競演で、最後を飾るのに 相応しい素晴らしい演奏でした。弦楽 器の美しい音色に癒されました。

最前列で聴かせていただきました。 目の前でコントラバスを見たり聴いた りしたのが初めてだったので感動しま した。(もちろんトークも勉強になり ました。)素晴らしい演奏をありがと うございました。ウクライナのことを 思って、「鳥の歌」を聴いてると涙が でてきました。 大変楽しく聴かせていただきました。

コントラバスの講義は初めて聞いて、 よそでしゃべりたくなりました。巨大 ともいえる楽器を、高齢者の為に2丁 もお持ちいただきありがとうございま す。

ピアソラの四季は、心がふるえるものがありました。アルゼンチンタンゴの旋律、ヴァイオリンの「ギイー」という音は体がふるえました。

とてもよかった!振動が伝わってく るようで、すてきでした。感動!! リラックスしたコンサートが一体感み たいな気持ちになれました。



演奏あり楽器の説明ありと楽しい演 奏会でした。演奏者の方はみなさん本 当に音楽がお好きな方ばかりですね。 演奏はできませんが、聴くことは好き です。何かしら心が落ち着きます。

「音楽のよろこび」にも出ております が、早くウクライナの戦争が終わって ほしいです。

0000000

コントラバスの説明、勉強になりま した。「千代紙」本当に日本的な美し い演奏でした。「ピアソラ」弦楽器で こんなにも迫力のある素晴らしい演 奏!生の音楽で心が震えました。凄い です。CD買います。

00000000000

弦楽器3本なのに、しょっぱなから お腹にズシンときました。特にクライ スラーの「レスターヴォ」から「鳥の 歌」の流れは心に響きました。前者は 難しい音階やテクニックもあろうのに まるでアンサンブルを聴いているかの ような巧みさによって、人間の心の奥 底を巡る描写のようでした。ウクライ ナ戦争の状況下「弾かずにはおれな い」とチェロではなくヴァイオリンで 聴いた「鳥の歌」は底深い哀しみから 反戦の思いが伝わってきました。

聞く機会のないコントラバスをめぐる 話は、面白く又コントラバスの色々な 弾き方も楽しめました。オリジナル曲 とても良いです。(塩見淳子さま)

色んな楽器の歴史、成り立ち等、分 かりやすく説明いただき、目の前で演 奏いただき大変楽しい授業でした。コ ントラバスの楽器持ち運び大変です ね!

楽しい時間を過ごせました。ありがと うございました。

00000000

今日はコントラバスの知らない面が 聞けて、とても良かったと思います。 クラシックと違った現代風の曲の面白 さも発見できました。来年度も楽しみ にしています。

厳しい条件の中、1年間お世話いただき ありがとうございました。

大変なコロナの中での開催ありがと うございました。新しい曲とクラシッ クの名曲どちらもお願いしたいです。

鳥の歌(カザルス)が聴けてよかっ たです。

大変なコロナの中での開催、ありがと うございました。新しい曲とクラシッ クの名曲どちらもお願いしたいです。

00000000000

「千代紙」は京都の町屋を想いうか べながら聴かせていただきました。 この1年間いろいろな楽器を楽しませ ていただきました。

金本さんの前が見えない方は椅子を移 動してください、と助言くださり、大 変うれしく感じました。演奏と合わせ てお礼申し上げます。

なんとか音楽の感を取り戻そうと参加しています。頭がかたくなり、感慨が減ってますので、これからも脳に言って聞かせようと思います。

いつも聴けないコントラバス、ヴィオラの音がいっぱい聴けてよかったです。ピアソラとてもよかった。刺激的でした。「鳥の歌」聴けて嬉しかったです。「グリーンスリーブス」もよかった。

Juvichanの「冬」「春」とてもすて きでした。 ヴィオラの楽器サイズが一定でない ということを、初めて知りました。ク ラシック一辺倒ではない演奏も楽しい です。ピアソラ「冬」は最高でした。 「音楽のよろこび」一年間楽しみにし ていました。ありがとうございます。 生演奏をまじかで聴かせてもらえる幸 せ感じた1年でした。

00000000000

皆さんの多才さにびっくりです。ピアノと打楽器の二刀流? 作曲されたり編曲されたり・・ 又、音楽の世界が広がりました。 Juvichanありがとうございました。 コントラバスのお話楽しかったです。 コロナの流行で休むこともありましたが、来年も受講します。楽しみにしております。音楽の視野が広がりました。

♪事務局からご挨拶♪

皆様のおかげでこの講座は2017年度から始まり、2022年度で6年目となりました。 昨年、一昨年はコロナ禍の中なんとか工夫し(DVDを作成して皆様へ送付、密を避けるため午前・ 午後と分けての講座等)開講し続けました。そのため京響の皆様には朝早くからのリハーサル、1日 2回公演、日程変更等、多大なご協力をいただきました。

音楽・文化は私達人間の生活になくてはならぬもの、「不要不急」というあいまいな言葉でこの講座をなくしてはならないとの思いを持って、この2年ほど少し無理をしてやってまいりました。 今年度はおりしもウクライナへのロシアの侵攻、戦争のさなかです。

日本の音楽関係者は次々と平和を希求し、戦争をやめよとの音楽活動に立ち上がってるとの報道に接 し、また前回の講座でも「鳥の歌」の演奏がされる等、私達のまわりでも力強い意思表示が静かにな されています。

コロナも先行き不透明です。よく言われるようにこんな時だからこそ、音楽とともにある生活を、楽しくそして心ゆさぶられる豊かな時間としてのこの講座を、皆様とともに作っていきたいと思います。

紙面に限りがありますので次号に記事として、様々な「お知らせ」を書かせていただきますので、 お読みいただき、またご意見をいただければと思います。

★事務局メンバーは、田中・佐藤・中村・滝本・池田・田村 6名が担当させていただきます。

毎回、他講座担当メンバーの応援も得て 運営をしております。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

